

■ 病院概要

標榜科

内科、外科、脳神経内科、脳神経外科、整形外科、循環器内科、消化器内科、泌尿器科、腎臓内科、心臓血管外科、糖尿病内科、呼吸器内科、呼吸器外科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科

病床数(全112床)

- ・一般病床／27床
- ・地域包括ケア病床／45床
- ・回復期リハビリテーション病棟／40床

- 回復期リハビリテーション病棟入院料1
 - 脳神経外科医(常勤)勤務
 - 365日リハビリテーション実施
 - 屋外リハビリ庭園
- ※パジャマレンタル・おむつセット導入あり



■ 在宅支援

- 訪問リハビリテーション
- 通所リハビリテーションセンター
コンパス

TEL.0964-53-1633
FAX.0964-53-1650

- 訪問看護ステーション
みすみ

TEL.0964-41-2101
FAX.0964-53-2121(居宅・訪看共通)

- 居宅介護支援センター
みすみ

TEL.0964-53-2120
FAX.0964-53-2121(居宅・訪看共通)

— 患者さんの権利と義務 —

私達は、安心して診療・治療を受けて頂くために、病状や治療法などについて十分な説明を行います。
また患者さんのご負担を軽減し、同意に基づいた医療を提供します。

患者さんの権利

1. 良質な医療を公平に受ける権利
2. 診療の内容等について十分な説明を受ける権利
3. 治療方法など自分の意志で決定する権利
4. 個人の秘密や医療上の情報が保護される権利
5. 診療記録の開示を求める権利
6. あなたの病気について他の医師に意見を求める権利

患者さんの義務

1. 自分の健康状態を出来るだけ正確に伝える義務
2. わからない事柄について質問する義務
3. 病院の規則と指示を守り治療に専念する義務
4. 他の来院者に対して迷惑をかける義務

— 理念と基本方針 —

医療・福祉を通じて安心して生活できる地域づくりに貢献します。
「地域医療を支援します」「救急医療を実践します」「健康的な生活を支援します」



社会福祉法人
恩賜財団 済生会みすみ病院

〒869-3205 熊本県宇城市三角町波多775-1
TEL.0964-53-1611(代表) FAX.0964-53-1618

お知らせ・休診情報はこちら
<https://sk-misumi.jp>



発行／令和7年6月 社会福祉法人恩賜財団済生会みすみ病院 広報委員会

咲かせよう いのち 世代を越えて いつまでも。



68 Take Free.
2025.6



もの忘れ
外来

就任・退任のご挨拶

リハビリテーションだより

「自動車運転再開支援・電動カート試乗体験」

〔特集〕もの忘れ外来／新任医師の紹介

みすみ病院のできごと／部署紹介〔在宅リハビリテーション室〕

病院概要／在宅支援



社会福祉法人
恩賜財団 済生会みすみ病院

健康と福祉の情報誌／発行者 吉岡 正一

看護部長 就任のご挨拶

4月より済生会みすみ病院看護部長に就任いたしました、横田佳子(よこたけいこ)と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。

これまで済生会熊本病院で35年余り、急性期医療と看護に携わってまいりました。宇城市市政20周年の記念すべき年に赴任したことは、私にとっての新たな歩みと重なり感慨深いものがあります。みすみ病院は地域性や病院機能も熊本病院とは異なりますが、前部長が築いてこられた体制を継承しつつ、時代の流れに柔軟に対応しながら新たな文化をつくっていききたいと思えます。多様な働き方や教育の充実に取り組み、患者さんの希望を尊重し、地域の方々に信頼される看護を提供できるよう取り組んでまいります。

みすみ病院は、半径20kmの範囲に入院できる病院がなく、宇城・上天草地域になくてはならない地域医療の砦であると考えています。地域の高齢化や人口減少という課題の中で、皆様が安心して住み慣れた地域での暮らしを続けることができるよう、救急医療や急性期での治療とともに、退院後も継続的な看護やリハビリ、訪問診療など、病院職員が一体となって取り組んでまいりたいと思っています。

みすみ病院に異動してきて感動したことは、海と山に囲まれた自然豊かな環境です。南に不知火海、北に有明海や普賢岳を臨み、夜は星空がとても美しく、心が癒されています。このような環境の影響か、患者さん方もおおらかな方が多いような気がします。お話をしていると、こちらが元気をもらうことが多いです。新型コロナウイルス感染症により、しばらく中断していた地域の皆様との交流も、今後再開できればと考えています。

「みすみ病院があって良かった」と言っていただけるよう、皆様のご要望にお応えし、今後も地域に根差した病院づくりを続けていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い申し上げます。



看護部長
横田 佳子

看護部長 退任のご挨拶

日頃より、済生会みすみ病院の運営におきましては、大変お世話になっております。この度、2025年3月末をもって、みすみ病院看護部長を退任いたしました。2014年4月から約11年間、看護部長という職責を何とか全うできましたのも、看護部のスタッフ、院内職員の協力、そして、地域のみすみ病院を利用される患者さん・ご家族の方々のご支援があったことと思ひここに感謝申し上げます。

人口減少、高齢化が日本の中でも早く進んでいる地域で医療を提供している当院にとっては、看護職だけでなく、病院経営に必要な職種の確保が困難な課題の一つでした。看護部長の任期の大半は人材集め、採用・育成の繰り返しでした。限られた人員、職種でいかに地域の医療や介護を維持していくべきか、迷いながらそして、多職種でいろいろ工夫しながら関わってまいりました。

日本の医療体制がこの11年で大きく変わっていく中では、看護部のトップとして、病院の幹部職員として病院運営、経営にも参画させていただきました。常に情報に遅れないように、みすみ病院が提供できる看護を模索しつつ体制の見直しを続けていきました。一スタッフでは、経験できない様々な役割を経験させていただいたことは大きな財産で、中でも、就任3年目に入って自身の課題が明確になってこれからというときに起こった熊本地震や、新型コロナ感染症への4年半以上の対応は、私に危機管理の重要性を植え付けてくれ、管理者の責務を知らしめてくれました。熊本地震では、スタッフ個々のみすみ病院への思いを実感でき、チームで協力すること、中でも自助、共助のありがたさを体感できたように思います。新型コロナ感染症への対応では、当院の弱点を知ることとなり、今までの医療提供体制での考え方や、実践スキルを見直しつつ、地域のために行政や近隣の他医療機関との連携に奔走させていただきました。ゴールの見えない中での対応は医療従事者の誰もが苦しい期間だったと感じています。このような中でも、地域の住民の皆様への思いは変わらずこの11年間従事させていただきました。

先日、退任前の最後のみすみ病院開院記念の清掃作業に参加しました。法被を着用し、天草パールラインマラソン大会のコースを清掃作業中に、地元の皆さんから「あーみすみ病院の」とか、「清掃ね、お疲れ様です」と自然とお声かけいただきました。みすみ病院着任後初めて清掃作業に参加した際は「何しているの」や「どこから?」という質問が多かったことを思い出し、この11年で病院が更に地域に密着している存在になっていると実感しました。任期の後半では今後の状況を鑑み、在宅医療充実のため、看護としてできることを考え、訪問看護ステーションを立ち上げました。まだまだ大きな結果を示すことはできていませんが、みすみ病院の医療や看護が継続できるような基盤整備を一番に関わらせていただきました。

みすみ病院の今後をぜひ応援いただけますよう、よろしくお願いいたします。本当にお世話になりました。



石田 由紀子



リハビリテーションだより
自動車運転再開支援・電動カート・試乗体験

脳卒中後の自動車運転再開支援の取り組み

作業療法士 谷口直也

●皆様は“脳卒中”と聞くとどのような症状を想像されますか？

一般には片麻痺(手足の麻痺)など身体の後遺症を思い浮かべる方が多いかもしれませんが、脳卒中は身体だけでなく、“高次脳機能障害”と呼ばれる目には見えない後遺症を残すことがあります。

具体的には『注意が散漫になる』『同時に2つ以上のことを処理できなくなる』『片側の空間の情報を見落としてしまう』などがあげられます。

これらの後遺症により問題となるのが“自動車運転”です。

＼自動車^{を安全に運転}するために／

ご存じの通り自動車を安全に運転するには、目まぐるしく移り変わる交通状況を迅速かつ適切に判断し、正確に車両を操作しなければなりません。前述した高次脳機能障害を呈すると、『障害物や人を見落とす』『判断が遅れる』などのミスにより交通事故を起こす可能性が非常に高くなります。



自動車運転再開における注意点

近年、てんかん患者による死亡事故が社会的な注目を浴びたこともあり、脳卒中を含む後天性脳障害を有した方の自動車運転再開においては、公安委員会(所轄の警察署)で適正相談を受け運転再開の可否が判断されることとなっています。

＼運転再開に向けてトレーニング／

一度病気になったからといって、全ての方が運転再開を諦めなければならないわけではありません。当院では脳卒中を含む後天性の脳損傷者に対する自動車運転の再開を支援するために、藤岡正導名誉院長を中心に運転再開支援チームを発足しました。このチームを中心に高次脳機能障害の有無や程度を評価(検査)し、問題があった場合はドライビングシミュレーターなどを用い運転再開に向けたトレーニングを提供しています。



ドライビングシミュレーター

運転再開支援を受けてみて

実際に令和7年4月30日現在で24名の患者さんを対象に運転再開を支援し19名(79.2%)の方が運転再開に至っています。運転支援を受けた患者さんからは『ドライブシミュレーターは実際にハンドルを握り、アクセル・ブレーキも操作できる。画面には信号機や中央線もあり、リアルな運転を体感できるため良いトレーニングになった。』との声をいただいています。

今後も“自動車運転の再開支援”を通し、皆様が安心して生活できる地域作りに貢献できるよう頑張ります。

当院での電動カート・電動車椅子の試乗体験の開始について

作業療法士 財津岳士

済生会みすみ病院の近隣ではもともと自家用車以外のバスやタクシーなどの公共交通機関が少なく、高齢化がすすむ地域で移動手段の確保が課題になっています。高齢や、病気のために免許返納を考える場合も、「今後、車に乗れなくなったらどうやって病院や買い物にいけばいいのだろう?」と不安になる方もいらっしゃると思います。

当院では、そういった不安に対して、2024年から地域の移動手段確保の一つとして、電動カートや電動車椅子の試乗体験を毎月2回、第4火曜日と金曜日に開催しています。



電動カート

試乗体験参加者の実際の声

「近くの公民館にいきたいけど移動手段がない」「免許返納後に、子どもに迷惑をかけずに自分1人で買い物にいきたい」「まだ車を運転できるけど今後のために一度乗ってみたい」など、昨年度は合計21名の方が、様々な理由で試乗されています。年齢も70～90代と幅が広く、免許をもともと持っていない方も「試乗してみると意外と操作が簡単でこれなら自分でも運転できそう」とおっしゃっていました。

試乗体験は無料です。

住み慣れた地域で長く生活ができる手段の一つとして、試乗体験を活用していただきますと幸いです。



「もの忘れ外来」に 相談してみませんか？

こんなこと
ありませんか？



- ☑ 最近、もの忘れが多い
- ☑ 外出がおっくう
- ☑ 知っている人の名前が思い出せない
- ☑ 受診や相談を家族や周囲から勧められた

認知症予防の鍵は 『食事・運動・睡眠のバランス』

認知機能低下は、食事・運動・睡眠のバランスをとることで、予防することができます。患者さんの生活環境を確認しながら、栄養指導・栄養療法により、認知症を予防・回復するための基礎体力を向上させ、睡眠障害についても指導を行います。



脳神経外科 医長
濱崎 清利
はまさき きよとし

完全
予約制

もの忘れ外来の受診は、必ず事前のご予約をお願いいたします。

◎ご予約はこちらから

☎ 0964-53-1656

電話受付時間／平日14:00-17:00

◎診察時間

	月	火	水	木	金
午前	×	○	×	×	×
午後	△	×	×	△	×

※△は、各曜日に月2日程度

みすみ病院の できごと

SAISEIKAI MISUMI HOSPITAL

開院記念清掃活動



2025年3月1日(土)の開院記念日に、上天草市大矢野町の宮津海遊公園を拠点として、毎年恒例の開院記念清掃活動を実施しました。

今回は、総勢95名(職員、職員家族、上天草市職員様等)の参加の下、約1時間かけて、翌週開催される天草パールラインマラソン大会のコース沿いの清掃活動を行いました。

当日は、晴天にも恵まれ、子どもから大人まで、和気あいあいと楽しく清掃活動を行いました。活動終了後も、家族でお弁当を食べたり、子どもたちが海岸沿いで走り回ったり、即席の家族写真撮影会を開催したり、終始笑顔の絶えないひとときでした。清掃活動を通して、地域も心も綺麗にすることができた一日となりました。

地域交流推進委員会

部署紹介★

在宅リハビリテーション室



チームを組み、
利用者のご家族の在宅支援を行っています

介護保険認定者を対象に訪問リハビリテーションと通所リハビリテーションといったリハビリテーションサービスを提供しています。医師、セラピスト、看護師、介護福祉士でチームを組み、利用者またその家族の在宅生活が安心安全で充実したものになるよう支援を行っています。

▶ 4月より新たに1名の医師が着任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。



消化器内科

常勤医師

村岡 正武 むらおか まさたけ

専門分野

消化管、炎症性腸疾患

先生から一言：消化器内科の中でも消化管疾患、特に炎症性腸疾患を得意にしています。専門分野はもちろん、専門外でも地域医療に貢献していきたいと思っています。

新任医師の紹介